

クリスマス

赤谷慶子

自分は幼児洗禮を受けしカトリック教徒ゆゑ、子供の頃よりクリスマスや復活祭祝ふ事に違和感覚えし事は皆無なり。子供の頃クリスマスには應接間に大きなモミの木飾られ、マントルピースに靴下を下げ、サンタクロース煙突降りて来るを心待ちにしたりき。深夜には田園調布教會のミサに祈りを捧ぐ。パリ在住の頃あるクリスマスにノートルダム寺院の深夜ミサに連れて行かれたり。等身大のキリスト降誕シーン入口手前に設置され、あまりにもリアルにて、讚美歌參唱忘れ見入たり事思ひ出す。

吾は生まれて間もなく四谷のイグナチオ教會にて洗禮授かり、初聖体拝領はパリ在住の頃、所謂堅信は日本に歸國後聖心女子學院初等科に在籍したりし時なり。堅信は幼児洗禮を授かりし者カトリック教徒なる事繼續する意思を表明する儀式にて、そを受くるを得るは秘跡の意味十分に理解するに到れる後なり。その際、洗禮名と同じやうに希望すれば堅信名與へらる。堅信名は、洗禮名を同じ名とするも良し、また別の名を選ぶも可なり。我が洗禮名はマリア・ソフィア・カテリーナ・テレジアとすべて女帝の名前にて、口外するも憚りあり。

日本は佛敎國なれど、最近の日本に於けるあらゆる宗教關連の祭典など、商業に乗せられ見境なく祝ふを見れば多少の違和感を覺ゆ。クリスマスはキリストの降誕祭なるを、日本中熱狂的に祝ふ。その意味を理解するや否やは不明なり。キリスト敎の信者たちは深夜ミサにて神に祈りを捧げ、靜かに祝ふなり。バレンタインはチョココレート屋に完全に乗っ取られてあり。復活祭はさほど注目を浴びずとも綺麗に色付けし卵や菓子を入れたるバスケット店頭に並ぶ事多くなれり。ハロウィーンしかり、今後なほこのやうな状態殖ゆるならんとぞ思はるる。いと不思議なる現象なり。

(平成二十九年十二月二十四日受附)